

**【表紙】**

**【提出書類】** 臨時報告書

**【提出先】** 東海財務局長

**【提出日】** 平成25年12月13日

**【会社名】** 株式会社丸順

**【英訳名】** MARUJUN Co., Ltd.

**【代表者の役職氏名】** 代表取締役社長 今川 喜章

**【本店の所在の場所】** 岐阜県大垣市新田町二丁目1234番地

**【電話番号】** 0584-89-8181（代表）

**【事務連絡者氏名】** 取締役管理本部長 奥田 崇雄

**【最寄りの連絡場所】** 岐阜県大垣市新田町二丁目1234番地

**【電話番号】** 0584-89-8181（代表）

**【事務連絡者氏名】** 取締役管理本部長 奥田 崇雄

**【縦覧に供する場所】** 株式会社名古屋証券取引所  
（名古屋市中区栄三丁目 8 番20号）

## 1 【提出理由】

当社は、平成25年12月13日開催の取締役会において、株式会社ベステックスキーエイ（以下「ベステックスキーエイ」といいます。）との間で、当社を吸収合併存続会社、ベステックスキーエイを吸収合併消滅会社とする吸収合併（以下「本合併」といいます。）による経営統合に関する基本合意書（以下「本基本合意書」といいます。）を締結することを決議し、同日、本基本合意書を締結いたしましたので、金融商品取引法第24条の5第4項及び企業内容等の開示に関する内閣府令第19条第2項第7号の3の規定に基づき、臨時報告書を提出するものであります。

## 2 【報告内容】

### （1） 本合併の相手会社についての事項

商号、本店の所在地、代表者の氏名、資本金の額、純資産の額、総資産の額及び事業の内容

（平成25年3月31日現在）

商号	株式会社ベステックスキーエイ
本店の所在地	三重県四日市市日永東三丁目3番18号
代表者の氏名	代表取締役社長 田中 定樹
資本金の額	492百万円
純資産の額	6,771百万円（連結） 6,008百万円（単体）
総資産の額	17,004百万円（連結） 13,067百万円（単体）
事業の内容	自動車部品の製造・販売

最近3年間に終了した各事業年度の売上高、営業利益、経常利益及び純利益

（連結）

連結事業年度	平成23年3月期	平成24年3月期	平成25年3月期
売上高（百万円）			21,642
営業利益（百万円）			662
経常利益（百万円）			706
純利益（百万円）			271

（単体）

事業年度	平成23年3月期	平成24年3月期	平成25年3月期
売上高（百万円）	13,119	12,587	13,295
営業利益（百万円）	384	584	806
経常利益（百万円）	466	853	795
純利益（百万円）	76	319	323

（注）ベステックスキーエイは連結財務諸表提出会社ではありませんので、最近3カ年の業績については個別財務諸表を記載しております。なお、平成25年3月期連結財務諸表は参考として記載していません。

大株主の氏名又は名称及び発行済株式の総数に占める大株主の持株数の割合

(平成25年9月30日現在)

大株主の氏名又は名称	発行済株式の総数に占める大株主の持株数の割合(%)
本田技研工業株式会社	20.2%
田中 定樹	13.3%
田中 繁樹	10.1%
従業員持株会	9.9%
有限会社ベスト	9.0%

提出会社との間の資本関係、人的関係及び取引関係

資本関係	当社の子会社である広州丸順汽车配件有限公司(中国)、武漢丸順汽车配件有限公司(中国)、インディアナ・マルジュン社(米国)には、ベストックスキョーエイは資本参加をしております。また、ベストックスキョーエイの子会社であるベストックス・MM・インディア社(インド)には、当社は資本参加をしております。
人的関係	該当事項はありません。
取引関係	一部製品で取引があります。

(2) 本合併の目的

経営統合の目的

当社とベストックスキョーエイは、対等の精神の下に本合併を行い、両社の保有する経営資源を相互補完的に最大限有効活用し、技術・商品開発の研鑽、生産・製造技術の強化及びグローバルでの強固な経営基盤の確立による飛躍的な成長を通じて、顧客価値及び株式価値の向上とより豊かな将来への成長、そして世界的競争力を持つ自動車部品メーカーとなることを目指します。

経営統合の背景

当社は、岐阜県大垣市を中心に自動車部品の製造・販売を行っており、ハイテン加工技術を駆使した強度に優れかつ軽量の自動車骨格部品の製造を得意としております。また、金型・治検具などの生産設備の製造も創業以来の事業であり、開発から設備調達、そして生産までの一貫生産体制を強みとしております。

ベストックスキョーエイは、三重県四日市市を中心に自動車部品の製造・販売を行っており、鉄パイプ、ステンレスパイプ及びアルミパイプを主な材料として、製造工程のノウハウや特殊技術を活かした部品の製造を得意としております。また、三重県以外にも、埼玉県に拠点を持つなど、生産能力の拡大展開にも積極的に取り組んでおり、収益力の強化を進めております。

当社とベストックスキョーエイのこれまでの共同事業の状況としては、当社の子会社である広州丸順汽车配件有限公司(中国広東省)、武漢丸順汽车配件有限公司(中国湖北省)及びインディアナ・マルジュン社(米国インディアナ州)にベストックスキョーエイはそれぞれ10%の資本参加をしております。またベストックスキョーエイの子会社であるベストックス・MM・インディア社(インド共和国ラジャスタン州)に当社は3.7%の資本参加をし、それぞれの拠点において両社のメイン商品群を生産するなど、顧客の需要に応えるべく積極的な関係を築いてまいりました。

当社や自動車業界を取り巻く環境としては、国内では人口の減少や自動車台数の飽和により年々販売台数が減少しており、主要顧客の製造拠点の海外移転による日本国内での需要減少が進んでいるほ

か、競合する企業の合併によるメガサプライヤーの誕生や新興国製造業の成長により、競争は激化の一途を辿っております。一方、海外では急成長を続ける東アジア地域の自動車需要への対応に加え、巨大市場である北米地域で需要が回復するなど、事業拡大の資金及び人手ともに不足する状況となっており、高度な会社運営が求められております。

さらには、自動車市場の熟成に伴う嗜好の多様化と、それにスピードを持って応える必要のある自動車メーカーの新型車の開発期間の短縮により、サプライヤーに対する品質向上や納期短縮の要求は高まり続けております。当社としてはこれまで以上に、当社の強みとなる技術を活かした競争力ある部品を先駆けて提案し、競合他社に対して優位性を保持することが持続的成長に結びつくと考えており、抜本的な事業構造改革の必要性を実感しております。

このような環境の中、当社とベストテックスキョーエイは双方を最良のパートナーとして認め合い、これまでの別々に歩んできた歴史を乗り越え本合併を行うことで、戦略的重点領域に経営資源を集中配分し、大幅に事業基盤の強化を達成できると考え、今回の基本合意に至る経緯となりました。

### (3) 本合併の方法、本合併に係る割当ての内容、その他の本基本合意書の内容

#### 本合併の方法

当社とベストテックスキョーエイは、当社を存続会社、ベストテックスキョーエイを消滅会社とする吸収合併の方式により合併いたします。

#### 本合併に係る割当ての内容

本合併にあたり、ベストテックスキョーエイの株主に対して当社の普通株式を合併比率に応じて交付いたします。合併比率については、公平性を期すためそれぞれ第三者機関に依頼し、両社の企業価値及び株式価値を算定し、その算定結果を参考に、今後当社及びベストテックスキョーエイの協議により決定する予定であります。

#### その他の本基本合意書の内容

本基本合意書の締結 (当社及びベストテックスキョーエイ)	平成25年12月13日
合併契約締結(当社及びベストテックスキョーエイ)	平成26年5月19日(予定)
定時株主総会において合併契約承認に関する議案の付議及び承認 (ベストテックスキョーエイ)	平成26年6月16日(予定)
定時株主総会において合併契約承認に関する議案の付議及び承認 (当社)	平成26年6月27日(予定)
合併期日(効力発生日)	平成26年10月1日(予定)

### (4) 本合併に係る割当ての内容の算定根拠等

本合併にあたり、ベストテックスキョーエイの株主に対して当社の普通株式を合併比率に応じて交付いたします。合併比率については、公平性を期すためそれぞれ第三者機関に依頼し、両社の企業価値及び株式価値を算定し、その算定結果を参考に、今後当社及びベストテックスキョーエイの協議により決定する予定であります。

( 5 ) 本合併の後の吸収合併存続会社となる会社の商号、本店の所在地、代表者の氏名、資本金の額、純資産の額、総資産の額及び事業の内容

商号	今後協議のうえ、決定いたします。
本店の所在地	岐阜県大垣市新田町二丁目1234番地（現当社の本店所在地）
代表者の氏名	今後協議のうえ、決定いたします。
資本金の額	今後協議のうえ、決定いたします。
純資産の額	今後協議のうえ、決定いたします。
総資産の額	今後協議のうえ、決定いたします。
事業の内容	自動車用車体部品の製造・販売、各種金型・検具・治具・生産設備の製造・販売

当社及びベステックスキョーエイは、当社代表取締役社長 今川喜章及びベステックスキョーエイ代表取締役社長 田中定樹を準備委員長とする「統合準備委員会」を設置し、本合併に必要な事項の検討を開始いたします。

なお、本合併に関する未定事項につきましては、今後決定次第、臨時報告書の訂正報告書を提出いたします。